辞典から見る「ホスピタリティ」―国語辞典、英語辞典を中心に― 佐々木隆

プロローグ

筆者は『日欧比較文化研究』(第 25 号)で「ホスピタリティ」とは何か―『広辞苑』と『大辞林』の場合」(2021)を投稿し、その際いくつかの問題を指摘したが、本稿ではその1つとして「ホスピタリティ」が一般化した時期について、『大辞林』(初版、1990 年 4 月)、『広辞苑』(第 6 版、2008 年 1 月)がそれぞれ初出(ただし、表記は「ホスピタリティー」)であったことから、1980 年代がひとつの時期ではないかとの仮説を立てて一般的な国語辞典のリサーチを行った。また、その定義の背景に観光産業の影響が大きいのではないかと考えている。

1 『広辞苑』と『大辞林』から見えたもの

筆者は「『ホスピタリティ』とは何か―『広辞苑』と『大辞林』の場合」(2021)で2大辞典のリサーチから見えたものとして以下の5点を指摘した。

- ① 『広辞苑』(第5版、1998年11月)には見出し語には掲載されなかったが、『大辞林』(初版、1990年4月)では見出し語で取り上げられていたことを考えると、1980年代には「ホスピタリティ」という言葉や概念が日本に受容されていたようだ。
- ② 表記として「ホスピタリティー」と長音表記になっている。 英語では"hospitality"、発音記号としても[hàspətæləti]と長音記号[:]が含まれていないも関わらず、日本語では「一」長音記号が入っている。英和辞典などでは「ホスピタリティ」とな

- っているが、他の日本語の辞書では『広辞苑』や『大辞林』の 影響を受けてか、「ホスピタリティー」となっている。
- ③ "hospitality"の語源の意味を反映させているのは『大辞林』 の初版(1990年4月)に「否定住の宗教者や異端からやって きた特殊な職業人を神の化身のごとく見なして歓待する風習。 異人歓待。外者歓待。」との記載があったが、第2版以降はす べて削除されている。
- ④ 最新の『広辞苑』(2018年1月)と『大辞林』(2019年9月)では「客を親切にもてなすこと。また、もてなす気持。」「丁重なもてなし。また、もてなしの心。」という定義になっており、共通することは、単なる「もてなし」ではなく、「親切な」あるいは「丁重な」という形容詞がついている。
- ⑤ もてなす対象が『広辞苑』では「客」とあり、『大辞林』には対象者が特定されていない。『大辞林』(初版)では「異人歓待。外者歓待。」の意味があり、これが第 2 版以降では削除されているが、本来は家族のようないわゆる身内に対してのものではないということだろう。『広辞苑』ではこの部分が「客」という表現で残されていることで外来者を対象にしたものであることを担保している。(1)

今回のリサーチでは第1点と第2点を意識して一般の国語辞典、その次に外来語辞典、その他の3種類に分けてリサーチを行った。おもに1980年代以降のものを中心にした。

2 国語辞典と外来語・カタカナ語辞典の「ホスピタリティ」

リサーチの結果を時系列で以下紹介しておきたい。なお、英語の 表記の記載は省略した。

- 林幸行/南條文雄増補者『国語辞典』修学堂、1904年 12 月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 勝屋英造編『外来語辞典』二松堂書店、1914年2月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 日本大辞典刊行会編『日本国語大辞典』(第 18 巻) 小学館、1975 年 11 月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 金田一春彦・池田弥三郎編『学研国語大辞典』学習研究社、1978 年 4 月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 三省堂編修所編『広辞林』(第6版)三省堂、1985年3月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 尚学図書編『言泉』(初版) 小学館、1986年 12月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 斎藤栄三郎編『外国からきた新語辞典』(第6版)集英社、1989 年4月 ホスピタリティー 歓待。厚遇。(p.363)
- 石綿敏雄編『基本外来語辞典』東京堂出版、1990 年 9 月 ホスピタリティー 客のもてなしのよいこと。親身になって世 話をすること。至れり尽くせりの心使い。◆ラテン語 39

hospes「客をもてなす主人」「客」、hospitale (ホスピタルの 項参照) から。(p.808)

矢ケ崎誠治監修『ポケット版外来語新語辞典』成美堂出版、1993 年6月

ホスピタリティー 歓待; もてなし (p.413)

三省堂編修所編『官公庁のカタカナ語』三省堂、1994年4月 ホスピタリティー もてなし。歓待。厚遇。客のため情報提供 体制を充実させ、外国人が国内を旅行する際の最大の障害で ある言語障壁の問題を緩和し、日本人とふれあうのできるホ スピタリティーを整えた観光地を作ることが大きな課題とな っている。(p.492)

※『観光白書 1994』への指摘

堀井令以知編『外来語語源辞典』東京堂出版、1994年6月 ホスピタリティ 見出し語なし

稲子和夫『現代新語辞典』 梧桐書院、1994 年 12 月 ホスピタリティ 見出し語なし

旺文社編『カタカナ語・略語事典[改訂新版]』旺文社、1996年1 月

ホスピタリティー 厚遇。もてなし。温かくもてなすこと。も てなしぶり。

北原保雄編『明鏡国語辞典』 (第 2 版) 大修館書店、2010 年 10 月

- ホスピタリティ 心のこもったもてなし。また、もてなしの心。 (p.1609)
- 松村明編『大辞泉』(第2版) 小学館、2012月11月 ホスピタリティー ①心のこもったもてなし。手厚いもてなし。 歓待の精神。 ②異人歓待。(p.3352)
- 見坊豪紀編『三省堂国語辞典』(第7版) 三省堂、2014年1月 ホスピタリティー 旅行者や客を親切にもてなすこと。歓待。 (p.1421)
- 中村徳次監修『ポケット版外来語新語辞典』、成美堂出版、2015 年4月 ホスピタリティー 歓待;もてなし。(p.524)
- 林四郎監修『例解新国語辞典』(第6版) 三省堂、2016年1月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 芳賀靖彦編『学研現代標準国語辞典』(改訂第3版)学研プラス、 2016年2月 ホスピタリティ 見出し語なし
- 小野正弘編集主幹『三省堂現代新国語辞典』(第 6 版)三省堂、 2019年1月 ホスピタリティ(一)親切にもなてなすこと。歓待。(p.1294)
- 山田俊雄編『新潮国語辞典』(第2版) 新潮社、2019年11日 ホスピタリティ 見出し語なし

西尾実編『岩波国語辞典』(第8版) 岩波書店、2019年11月 ホスピタリティー ホスピタリティー 客人を親切にもてなす こと。(p.1438)

山田忠雄編『新明解国語辞典』(第8版) 三省堂、2020年11月 ホスピタリティー[親切なもてなし]接客業で、従業員が客に対 して最善のサービスをしようとする気持や考え方。(p.1446)

国語辞典系は『広辞苑』や『大辞林』の影響もあろうが、筆者の 手許にあるものでは2010年以降から見出し語として登場している。 リサーチが進めば、2000年代から登場した可能性がある。表記とし ては「ホスピタリティー」「ホスピタリティ(ー)」「ホスピタリティ」 と本来の発音に使い表現もようやく掲載されるようになっているが、 『広辞苑』や『大辞林』の表記の影響が強いように見られる。

外来語事典系では、筆者のリサーチでは斎藤栄三郎編『外国からきた新語辞典』(1989) には「ホスピタリティー」と見出し語が見られた。なかでも重要だと思えるのは三省堂編修所編『官公庁のカタカナ語』(1994) である。ここには『観光白書 1994』が欄外に情報源として記載されていることだ。『観光白書』は1963年に観光基本法が施行されたから発行が開始されたものだ。1964年の東京オリンピックがひとつの契機になっていることは言うまでもないことだ。

3 英語辞書の "hospitality"

ここで言う英語辞書とはいわゆる英和辞典で"hospitality"の見出し語があるのかどうか、またその定義はどうなっているかに焦点

を当てた。次に和英辞典で「もてなし、歓待」を調べ、どのような 英語が示されているかをリサーチした。

英和辞典

- 堀達之助編『英和対訳袖珍辞書』洋書調所、1862年 hospitality 好ンデ客ヲハ田ルヿ旅人ヲ善ク遇スルヿ (p.374) ※日本で最初の刊本
- 柴田昌吉・子安峻編『英和字彙』日就社、1873年1月 hospitality 好ク客ヲ歓待ス。善ク客ニ會釋スル (p.495)
- 豊田千達訳『ダイヤモンド英和辞典 挿画訂訳』武田福蔵、1888 年5月

hospitality 見出し語なし

- 和田垣謙三『新英和辞典』大倉書店、1901 年 11 月 hospitality 賓客を歓待すると、善く客を遇すること (p.410)
- 神田乃武他編『新訳英和辞典』三省堂書店、1902 年 6 月 hospitality 歓待。厚遇。(p.489)
- 上野陽一他編『学生英和辞典』博報堂、1910年 11月 hospitality 懇篤。深切 (p.375)
- 神田乃武·金澤久編『袖珍英和辞典』(大改訂 81 版) 三省堂、1922 年 4 月

hospitality 歓待。厚遇。(p.437)

- 中島理毅夫『昭和中等英和辞典』昭和中等会、1927年 10月 hospitality 見出し語なし
- 岡倉由三郎編『初級英語辞典』研究社、1933 年 11 月 hospitality 厚遇、歓待。(p.275)
- 三省堂編輯所編『集約英和辞典』(第7版) 三省堂、1948年7月 hospitality もてなしのよいこと。歓待。(p.137)

英和辞典での訳語として「ホスピタリティ」を当てているかどうかも興味深いところだ。英和辞典ではできるだけカタカナ表記にせず、 日本語にする傾向にあるからだ。最近の英和辞典についても見てお きたい。

小学館ランダムハウス英和大辞典編集委員会編『小学館ランダム ハウス英和大辞典』(パーソナル版全1巻)小学館、1979年1 月

hospitality 1 (客や他人の) 厚遇、歓待 2 暖かく親 切にもてなす心、歓待すの精神 (p.1232)

小稲義男編『研究社新英和大辞典』(第5版)研究社、1980年 hospitality 1 旅行者や客を親切にもてなすこと、歓待、厚 遇 2 [新思想などに対する] 受容力、理解力

松田徳一郎監修『リーダーズ英和辞典』研究社、1984年 hospitality 1 親切にもてなすこと、歓待、厚遇、ホスピタ リティー 2((新思想などに対する))受容力、理解力 (p.1064)

- 小西友西他編『<コンパクト版>小学館プログレッシブ英和中辞典』(第2版)小学館、1987年1月
 - hospitality 1 厚遇、歓待 2 (新思想などの)理解、 受容 3 温かくもてなす心、歓待の精神 (pp.899-900)
- 竹林滋・小島義郎編『ライトハウス英和辞典(2色刷)』(第2版) 研究社、1991年

hospitality 親切にもてなすこと、歓待、厚遇 (p.685)

桃沢力他編『ニューサンライズ英和辞典(2色版)』旺文社、1992 年1月

hospitality (客を)親切にもてなすこと、歓待、厚遇

小西友七編集主幹『フレッシュジーニアス英和辞典』(改訂版第3版)大修館書店、1994年4月

hospitality 1 親切なもてなし、歓待、厚遇 2 ((英)) 無料の食事付き宿泊 (p.681)

小西友七編集主幹『ジーニアス英和辞典』(改訂版)大修館書店、 1994年4月

hospitality 1 親切なもてなし、歓待、厚遇 2 ((英)) 無料の食事付き宿泊 (p.881)

堀内克明・石山宏一編『ポケットプログレッブ英和・和英辞典』 小学館、1997年3月

hospitality 厚遇、歓待、親切なもてなし (p.268)

山岸勝榮編者代表『スーパー・アンカー英和辞典』学習研究社、 1997年3月

hospitality (客に対する)親切なもてなし、歓待。

英語文化のキーワード

- (1) キリスト教徒には hospitality, hospitable という語から、「旅人をもてなすことを忘れてはなりません」「不平を言わずにもてなし合いなさい」といった新訳聖書のことばを思い出す人が多い。したがって、意識しているとしないとにかかわらず、彼らにとっての「もてなし」とは神の命令を実践することにもつながる。
- (2) 一般に英米ではレストランなど家の外でもてなすより も家庭に客を招いてもてなすほうが普通と考えられている。 (p.746)
- 木原研三編者代表『グランドセンチュリー英和辞典 CD 付き』 三省堂、2001年1月

hospitality (客や外来者に対する) 手厚いもてなし、歓待 (p.662)

和英辞典

高野岩三郎『和英辞典』大倉書店、1897年12月

Kantai (歓待) の見出し語なし

Motenashi の見出し語なし

Motenasu 歓待 To treat; to entertain kindly or with civility. (p.278)

Settai 接待 ①Gratuitoual dealing out food to poor people, or worshipers at a temple ②Reception (p.376)

井上十吉編『新訳和英辞典』三省堂、1909年3月

Kantai (歓待) Welcome; warm reception; entertainment (p.741)

Motenashi [待遇] Entertainment; treatment (p.1072) Settai (接待) Reception; entertainment (p.1378)

斎藤秀三郎『斎藤和英大辞典 普及版』名著普及会、1928年6月(覆刻1979年3月)

Kantai 〔歓待〕Welcome; entertainment; hospitality; féte (p.383)

Motenashi [持て成し] 1 (=取扱ひ) treatment; reception: (旅館などの持て成し) service; accommodation. 2 (=歓待、饗應) attentions; welcome: hospitality; entertainment; féte (p.610)

Saabisu 見出し語なし

竹原常太『スタンダード和英辞典』(第 21 版) 大修館書店、1946 年 11 月

Kantai (歓待) hospitality; welcome; hospitable treatment; a warm reception (p.493)

Motenashi (持成) [待遇・接待] treatment; reception [饗庵] entertain; [さーゔぃす] service 持成ノヨイ(悪) イ hospitable (inhospitable) (p.624)

Settai (接待) reception; receiving; entertainment (p.1043)

山田和男編『新クラウン和英辞典』(第5版)三省堂、1986年1 月

- かんたい 歓待 a warm [cardinal, genial] reception; (a) hospitable treatment. (p.228)
- もてなし〔待遇〕reception; treatment; service (旅館などの); 〔供応〕entertainment; 〔歓待〕hospitality (p.1065) せったい 接待 reception; welcome (p.540)
- 小島義郎・竹林滋編『ライトハウス和英辞典』第 2 版、1990 年かんたい 歓待 welcome; (親切にもてなすこと) hospitality (p.346)
 - もてなし (親切な待遇) hospitality; (迎え入れられること) reception; (扱い) treatment (p.1667) サービス service (p.588)
- 山岸勝榮・郡司利男編『ニューアンカー和英辞典』学習研究社、 1991年1月
 - かんたい 歓待 彼女は婚約者の家で歓待された She was warmly welcomed by her fiancé's family. (p.322)
 - もてなし hospitality (歓待); a welcome (歓迎) (p.1393) サービス 1((接客・接待)) service 2((値引き・無料)) a discount 3((球技で)) a service (pp.512-513)
- 竹林滋編者代表『研究社日英辞典』研究社、1992年7月 kantai かんたい 見出し語なし motenashi もてなし 見出し語なし motenasu もてなす (持て成す) (彼は私をたいへんもてなし てくれた) He entertained me exceedingly well. (p,60) saabisu サービス 1 service 2 discount; no charge; extra (p.744)

- 近藤いね子・高野フミ編『小学館プログレッシブ和英中辞典』(第 2版) 小学館、1993年1月
 - かんたい【歓待】a warm [hearty] reception (p.388)
 - もてなし【持て成し】①[待遇] treatment; [旅館などの] service.
 - ② [ごちそうを出すこと] | 酒食(茶菓)のもてなしを受け
 - る We were 「served [entertained with] 「dinner [a wine] (refreshments) .(p.1783)
 - サービス ① [持て成しぶり・販売した商品の世話] service
 - ② [値引きすること] 2割サービスしましょう I'll give you
 - a twenty-percent discount. ③ 〔競技〕 \Rightarrow サーブ (pp.664-665)
- 小島義郎・竹林滋・中尾啓介編『カレッジライトハウス和英辞典』 研究社、1995 年 11 月
 - かんたい 歓待 welcome; (親切にもてなすこと) hospitality (p.369)
 - もてなし (親切な待遇) hospitality;(迎え入れること) reception;(扱い) treatment (p.1733)
 - サービス service (p.634)
- 堀内克明・石山宏一編『ポケットプログレッブ英和・和英辞典』 小学館、1997年3月
 - かんたい 歓待 ((give)) a warm (hearty) reception; hospitality (p.111)
 - もてなし 持て成し treatment; service (p.542)
 - せったい 接待~する receive; entertain (p.295)

- 斎藤秀三郎/日外アソシエーツ辞書編集部編『NEW 斎藤和英大 辞典』日外アソシエーツ、1999 年 9 月
 - かんたい [歓待] Welcome; entertainment; hospitality; féte (p.283)
 - もてなし [持て成し] 1 (=取扱い) treatment; reception: (旅館などのもてなし) service; accommodation 2 (=歓待、饗応) attentions; welcome: hospitality; entertainment; féte (p.1278)

サービス 見出し語なし

- 渡邉敏郎他編『研究社新和英大辞典』(第5版)研究社、2003年 7月
 - かんたい【歓待】 a hospitable [warm, cordial, hearty] reception; hospitality: entertainment; hospitable treatment; a welcome (p.645)
 - もてなし 1 [客への待遇] treatment; reception; [旅館などの] service 2 [接待・ごちそう] welcome; entertainment; hospitality (p.2579)
 - サービス 1[商売上の]commercial blandishments; ((口))soft soap; (もてなし) special treatment; (値引き) a discount; (おまけ) a free gift; ((口)) a freebie; (商品の保証) concern; [奉仕] help; assistance 3 [非生産の仕事] non-productive work 4 [競技] service

筆者が調査した英和辞典系で"hospitality"が見出し語として取り上げられたものは日本で最初の刊本として出版された堀達之助編『英和対訳袖珍辞書』(洋書調所、1862年)であり、明治初期の英和辞典の柴田昌吉・子安峻編『英和字彙』(日就社、1873年1月)

でも見出し語として取り上げられていることから、明治初期にはすでに定着した英語であったことが分かる。"hospitality"の訳としては「歓待」「厚遇」と言ったところが主流で、戦後になって「もてなし」というような表現が登場する国語・外来語系の辞典では 1990年前後にようやく「もてなし」が登場している。もちろん、日本語として「もてなし」は古くから使用されていたことは言うまでもないことだ。

一方、英和辞典と国語辞典・外来語辞典の中間的な意味合いのある和英辞典ではどうだろうか。1980年代にようやく「もてなし」(持て成し)の訳語として"hospitality"が登場しているが、「かんたい」(歓待)の訳語として"hospitality"が登場するもの、両方で示しているものがあるのも面白い特徴だ。これは"hospitality"の和訳として「歓待」「厚遇」があったためと推測することができる。

エピローグ

英語に限らず、日本語に訳される時、概ね3つの方法がある。第 1に概念等、日本語として最も近いと思われるものに当てはめる。 第2にこれまでにない日本語を作り出す。第3は英語の発音に近い カタカナで表記にする。しかし、英和辞典では日本語にすることが 重要性があるため、第1あるいは第2の方法をとる、これに対して 国語辞典は日本語としての定着度を判断することになり、第3の表 記方法が浮上してくることになる。

国語辞典での定着はかなり遅いことがわかる。拙著『ホスピタリティ』とは何か―『広辞苑』と『大辞林』の場合」(2021)で明らかにしたが、『広辞苑』では第6版(2008)、『大辞林』では初版(1990)から「ホスピタリティー」の項目が設定されるようになった。一般の国語辞典での掲載は意外に遅い。山田忠雄編『新明解国語辞典』

(第8版、2020) には「ホスピタリティー」=「サービス」といった定義にもなっている。

国語辞典での定義は英語辞典とは異なり日本語としての説明、定義が求められる。スペース的にも長く定義もできないが、現在の日本を捉えるキーワードの1つとしても「ホスピタリティ(一)」の定義はまだ整備中、その取り扱いも項目として取り上げていないものなどもあり、曖昧な状態である。今後は「ホスピタリティ(一)」がなぜ求められるようになったのかをリサーチしていきたい。

注

- (1) 佐々木隆「『ホスピタリティ』とは何か― 『広辞苑』と『大辞 林』の場合」(『日欧比較文化研究』第 25 号、2021 年 10 月)、 p.43.
- ※今回、各辞書の定義の掲載頁等については注ではなく本文中に明示した。
- キーワード:ホスピタリティ、hospitality、国語辞典、英和辞典、 和英辞典、観光産業